



大津小たより

2021. 7. 19

明日から夏休み



65日間の1学期を終えて、いよいよ明日からは子どもたちが心待ちにしていた夏休みが始まります。今から、何をしようか、どこへ行こうかときっとワクワクしていることだと思います。ただ、コロナ禍にありますので例年のように思う存分！といかないところが少し残念ですね。

さて、本日担任等が子どもたちに通知票(かがやき)を見せながら1学期のがんばりを伝え、後日個人懇談で保護者の方に直接1学期のがんばりの様子についてお話をすることになっています。子どもたちは、学習や学校行事、掃除、当番活動などいろいろな活動でがんばっていました。学習面ばかりでなく、さまざまな場面での子どもたちの様子をお聞きいただけたらと思います。掃除に取り組む様子や給食を食べる様子、友達への声掛けなどからも子どもたちの成長の様子が良く分かるものです。加えて、ご家庭での様子もぜひ担任等へお伝えください。子どもたちの成長を学校と家庭で共有し、夏休みの生活や2学期の学校生活に役立てたいと思います。お忙しいところ学校へ出かけていただきますが、どうかよろしく願いいたします。

お手伝いをしましょう！させましょう！

1学期中は、子どもたちも忙しくしていたかもしれませんが、夏休みは余裕が持てます。そこで、ぜひ実践をしてほしいのが**お手伝い**です。1年生は1年生なりに6年生は6年生なりに、また、それぞれのご家庭に応じて子どもたちに役割を持たせてほしいと思います。そして、子どもたちに「**ありがとう、助かった!**」と声をかけてやってほしいと思います。継続的

に取り組むことで心の力を付けること、家族から感謝されることで役立ち感を持ち自信につながられます。是非とも取り組んでいただきたいと思います。

水難事故

心配している事が一つあります。出雲市においては、昨年、今年と水泳学習を実施することができませんでした。

2年生、1年生は水泳学習0時間です。市内では共通に各学年の目標を定めて水泳学習に取り組んでいた伝統がありました。残念ながらこれもコロナ禍により途絶えています。昨年度は大変残念なことに県内において水難事故が発生し、1名の小学生が川遊びで命を落としています。水泳学習を十分行い泳力を付けていれば、もしかしたら救えた命だったかも知れません。家庭でも水慣れは簡単にできます。頭からシャワーをかけて洗髪する(シャンプーハット、バックシャンプーはダメです)、顔を浴槽につけて息こらえをするなどを行ってもらうだけでも随分と違います。チャンスがあれば、海水浴やプールに出かけられれば効果倍増です。地域学校運営理事会においても、心配の声がありましたのでお伝えいたします。



夏河を 越すうれしさよ 手に草履 与謝蕪村

与謝蕪村は、江戸時代中期に活躍した俳人です。小林一茶、松尾芭蕉とともに「江戸の三大俳人」と称されています。蕪村が夏の小川を渡る際の清涼感を詠んだ句です。子どものころの楽しかったことが自然と頭をよぎるようで私の大好きな俳句の一つです。

私が小さかった頃は、さすがにゴム草履に進化しておりました。ゴム草履は手に持たずに履いたままで、高瀬川の水が引いたのを見計らって友だちと魚とりに行きました。浅瀬を泳ぐ魚を追いかけて、壁沿いのえぐれたところや、深みに魚が潜んでいて網や手でガサゴソしたりしながら捕まえていました。当時は斐伊川で泳ぐことができました。神立橋の下あたりで泳いでいました。浮き輪を持って行って泳いだり水中眼鏡を付けて潜ったりもしました。橋脚の下は砂が掘れていて流れも速かった気がします……。(今は子どもだけでは禁止です)ゲームのない昭和時代の楽しかった思い出です。令和の小学生はどんな思い出を作るのでしょうか？2学期に子どもたちからお話を聞くのが今から楽しみです。

最後になりましたが、保護者の皆さま大津地区の皆さま、1学期中は本校の教育活動にご理解とご協力いただき大変ありがとうございました。本日、無事に終業式を迎えることができました。これも皆様のご支援のお蔭です。重ねて御礼申し上げます。